

## 審議会会議録

審議会等の名称	第2回 瑞穂市総合計画等評価審議会
開催日時	令和5年7月26日(水曜日) 午後6時00分から7時30分
開催場所	ココロかさなるCCNセンター 第4会議室
議題	「瑞穂市第2次総合計画」「瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」にもとづく事業評価(令和4年度実施分)について
出席委員 欠席委員	<p><b>出席委員</b> 14名                  曾我部雄樹会長、西野陽一副会長、小澤耕委員、河合一恵委員、草野貴光委員、相浦良子委員、高橋秀人委員、中林由紀子委員、林亜紀子委員、福田公平委員、保坂秀樹委員、松尾治幸委員、吉田明貴子委員、吉田敏之委員</p> <p><b>欠席委員</b> 1名                  加木屋加緒里委員</p>
公開・非公開の区分 (非公開理由)	公 開 ・ 非 公 開
傍聴人数	0人
審議の概要	<p><b>開 会</b>  <b>【事務局】</b>                  委員総数15名に対し過半数を超える14名の出席があり、瑞穂市附属機関設置条例第8条第1項に基づき会議が成立していることを宣言した。</p> <p><b>【曾我部会長】</b>                  本会議について瑞穂市審議会等の設置、運営等に関する要綱第11条により原則公開すること、また第12条により当該審議会の傍聴を希望する者に傍聴を認めることを各委員に確認し了承を得た。</p> <p><b>議事「瑞穂市第2次総合計画」、「瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の令和4年度実績の評価について</b>  <b>【曾我部会長】</b>                  事務局に対し評価方法について説明を求めた。</p> <p><b>【事務局】</b>                  評価方法について説明を行った。</p>

**【曾我部会長】**

令和4年度に実施した事業について順に担当課に説明を求めた。

**「穂積駅周辺地域の商業活性化」について**

**【曾我部会長】**

「穂積駅周辺地域の商業活性化」について担当課に説明を求めた。

**【商工農政観光課】**

事業実績評価を用い実施した事業について説明を行った。

**【曾我部会長】**

担当課の説明について、各委員に対し質問・意見を求めた。

**【委員】**

中小企業小規模事業活性化補助事業の実績が40,550千円となっているが、説明の中では39,000千円であったがこの差異は何か。

**【商工農政観光課】**

この差異は中小企業診断士の手配などの事務を商工会にお願いしており、商工会に支払う事務費である。

**【委員】**

創業者が10名とあるが、具体的にどのような業種か。

**【商工農政観光課】**

ネイルやエステなどの美容系。加えて、コロナ禍もあってパーソナルジム、ネット通販もあった。

**【委員】**

40,000千円の補助金に対してどのくらいの効果があると把握されているのか。生産性の向上や経営の効率化など。最終的には振り返ることが必要かと思うが、予定されているのか。

**【商工農政観光課】**

この事業は最初に計画書を提出いただく。その時に詳細の計画書の中でKPI、目標数値を掲げ、取り組んでいただいた。

事業が終わった後に取り組んでどうだったのかをKPIの実績値を出してもらったが7、8割ぐらいの方が達成できていた。

**【委員】**

令和3年度と4年度、2年行われたかが継続性はいかがか。

**【商工農政観光課】**

これは国のコロナの関係で出た交付金を使って行った事業。市の単独事業で行っていくのは難しい。1回区切りは必要と考える。

**【曾我部会長】**

「穂積駅周辺地域の商業活性化」について委員に評価結果の挙手を求めた。

→有効であった12票、有効とは言えない1票、棄権1票。

「目標達成に有効であった」にて決する。

**「地域資源のブランド創出・魅力向上」について**

**【曾我部会長】**

「地域資源のブランド創出・魅力向上」について担当課に説明を求めた。

**【総合政策課・商工農政観光課】**

事業実績評価を用い実施した事業について説明を行った。

**【曾我部会長】**

担当課の説明について、各委員に対し質問・意見を求めた。

**【委員】**

令和4年度の実績の地域ブランド戦略事業414万円は、特産品のPRに使われたのか。

アンケート調査があるが、令和3年、4年は行わなかったのか。その理由は。

**【総合政策課】**

414万円の260万円についてはみずほピクニックのイベントの開催費用となった。残りの150万円についてはメディアを活用したプロモーション業務ということで、事業者と連携し庁舎にデジタルサイネージを設置し市の施策やPRを流した。また、事業者の所有するテレビ付きの車メディアランナーを活用し駅前で市の魅力を発信した。そのような取組が414万円の使い道となる。

**【商工農政観光課】**

アンケートについては美江寺の宿場まつりのアンケート数字でKPIを挙げている。令和3年、4年度とイベント自体が中止になっており、アンケートが実施できていない。

**【委員】**

美濃中山道連合の組織体で17宿ある市町村の構成団体が連合が組織されているがここではスタンプラリーを行っただけなのか。ほかに連合としての事業は行っていないのか。

すなみ柿のPRに関する取組について令和5年からふるさと納税で掲載を検討されているがそれに伴う事業費はどのくらいか。

PRグッズを作成するとは具体的にどのようなものか。各生産者に配ったステッカーのようなものなのか。

**【商工農政観光課】**

美濃中山道連合の取組としてはパンフレットを製作しており、県内の中山道のルートを全部網羅している。そこには各宿場の史跡が載っている。また、マスコミ向けにPR活動も行っている。

すなみ柿については柿そのものをふるさと納税で送るのに加えて説明用のパンフレットを入れる予定。予算としては、箱代を計上している。

**【曾我部会長】**

「地域資源のブランド創出・魅力向上」について委員に評価結果の挙手を求めた。

→有効であった14票、有効とは言えない0票  
「目標達成に有効であった」にて決する。

**「瑞穂市中山道団子化構想事業」について**

**【曾我部会長】**

「瑞穂市中山道団子化構想事業」について担当課に説明を求めた。

**【生涯学習課長】**

事業実績評価を用い実施した事業について説明を行った。

**【曾我部会長】**

担当課の説明について、各委員に対し質問・意見を求めた。

【委員】

地域横断組織に加入した事業が令和4年度に2団体あったとあるが、どのような団体か。

【生涯学習課】

一般企業や地元の自治会。

【委員】

目標指標のイベントの回数の数え方は。

【生涯学習課】

この目標指標に対してのイベントは地方創生の集客イベントを定義しており、地元のゲートボール大会などではない。

【委員】

地域横断組織に加入した事業、民間活動団体の数は2しかないのか。

【生涯学習課】

団体としては2しかないが委員としては20名ぐらいいる。個人の身分で参加していただいている方が大半である。

【委員】

団体としての目標は。

【生涯学習課】

目標数値は6。

【委員】

令和5年度は予算が増えているが、令和6年度は減っている。アクションプランによると令和6年度以降に新たな事業が増えていくようにみえるが、予算は増えていかなくてよいか。

【生涯学習課】

令和5年度は1,200万円の事業費を見込んでいるが、これは地方交付金を予定している。一部事業が採択されておらず、実際は600万円ほどしか認められていない。令和6年度は500万円になっているが、指定管理者を導入して、効率的な運営に努め、経費をできる限り下げたいとの思いから事業費を下げている。

【曾我部会長】

「瑞穂市中山道団子化構想事業」について委員に評価結果の挙手を求めた。

→有効であった13票、有効とは言えない1票  
「目標達成に有効であった」にて決する。

### 「確かな学力を育成する教育の推進」について

#### 【曾我部会長】

「確かな学力を育成する教育の推進」について担当課に説明を求めた。

#### 【学校教育課長】

事業実績評価を用い実施した事業について説明を行った。

#### 【曾我部会長】

担当課の説明について、各委員に対し質問・意見を求めた。

#### 【委員】

全国学力テストを行ったときの質問紙調査での%があるが、今不登校の子や学校に行けていない子は参加しているのか。子どもたちが答えた結果が8割の子が授業をよく分かっていると答えているのは正しい数字か疑問である。

#### 【学校教育課長】

まず、不登校の子については個別に保護者の方と実態に応じて学力状況調査をどのように取り組むかを相談している。よって、中には家庭で保護者の方に見ていただきながら取り組む子もいれば、特別支援学級の子で国語だけに取り組む子もいる。また、実際に受けていない子もいるため、受けた子の割合になる。

%については当てはまる、どちらかという当てはまる、どちらかという当てはまらない、当てはまらないの4段階を児童自身が自己評価で質問に答えるため、自分の中で全体的に分かるなと思った子は当てはまる、どちらかという当てはまるを足した割合になるためこのような数字になる。

#### 【委員】

正しい数字と判断しているということか。

#### 【学校教育課長】

実際に理解できているとはまた違う。子ども自身が授業を楽しんだとか、項目が多数ある中で、学力に関わる部分で授業について子どもがどう感じているのかの調査結果である。我々はこのような調査を行った際には、質問紙調査の結果と、実際にそれぞれ

の教科別の学力結果で県平均や全国平均と比較したり、項目別にどこ小学校は国語の表現する分野は得意だが、もう少し漢字を練習した方がよいなど、分析を行いながら学校の授業改善に役立たせている。

【委員】

やはりテストを受けられない子が分からないということが多いため、その子たちを外した数字では指標としてどうなのかと思う。見直しが必要なのではないか。

【学校教育課長】

今のご意見については一度検討させていただく。

【曾我部会長】

「確かな学力を育成する教育の推進」について委員に評価結果の挙手を求めた。

→有効であった14票、有効とは言えない0票  
「目標達成に有効であった」にて決する。

「教職員の指導力向上の取組の充実」について

【曾我部会長】

「教職員の指導力向上の取組の充実」について担当課に説明を求めた。

【学校教育課長】

事業実績評価を用い実施した事業について説明を行った。

【曾我部会長】

担当課の説明について、各委員に対し質問・意見を求めた。

【委員】

令和4年度実績において、それぞれ費用があるがどのような内容のものか。

【学校教育課長】

教職員研修の実施に関しては、先生方の研修をより充実させるために講師を呼んでいる。その際の謝礼金になる。

教職員の働き方改革3ヵ年計画がある。この中に人的支援、時間を生み出す支援、物的支援といった中で勤務環境を改善するにあたって、プリントの印刷や先生方のサポートするスクールサポートスタッフ、学習支援員といった方の人件費が中心となる。

**【委員】**

目標指標について、生徒側のアンケートではなく、先生方自身の思いや研修の内容についてなど、先生側のアンケートが必要かと思う。

**【学校教育課長】**

研修の際には、研修についてどうだったのか、学校で活用できるか、自分の指導力向上に役立ったか等のアンケートを実施している。結果を受け、次年度の研修をどのように構築していくかの参考としている。よって研修別にアンケートを取っている集計のため、それを全てまとめて教職員研修の指標とするのは難しい。

また、学校自体が主体的に行っていく必要があると考えている。学校の中では、児童の自己評価、先生方の自己評価、保護者や地域の方にも学校評価をとっている。その結果をもとにしながら改善を図る指標にしている。

**【曾我部会長】**

「教職員の指導力向上の取組の充実」について委員に評価結果の挙手を求めた。

→有効であった14票、有効とは言えない0票  
「目標達成に有効であった」にて決する。

**閉 会**

事務局  
(担当課)

瑞穂市 企画部 総合政策課  
TEL : 058-327-4128  
FAX : 058-327-4103  
e-mail : sougou@city.mizuho.lg.jp